

科目名称：	日本語Ⅱ（留学生）	
担当者名：	桜井 正美, 長田 明子, 田中 裕子, 寺崎 祐子, 鹿野 みどり	
区分	授業形態	単位数
特例科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
日本語Ⅰで学んだ基礎的な「読む、書く、聞く、話す」の四技能の定着を図り、大学の講義や演習が十分に理解できる助けとなるよう更なる日本語習得を主目的とする。また、日本での生活に必要な実践的な運用力も身につけ、日本語能力試験N2レベルの実力をつけることを目標とする。		
授業の達成目標・到達目標		
中級者対象のテキストを主教材とし、毎日の大学での専門的な講義や演習、教科書の理解が可能な実力習得をめざす。またコミュニケーション能力の向上にも力をおき、中級レベルの語彙や表現を駆使し、自分の意見や考えが表現できるようになることを到達目標とする。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60		15	25	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《氏名・内容》 桜井 正美 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 25年
	《氏名・内容》 長田 明子 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 19年
	《氏名・内容》 鹿野 みどり 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 12年
	《氏名・内容》 田中 裕子 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 12年
	《氏名・内容》 寺崎 祐子 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 10年

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 第1課「音楽と音の効果」	語彙・文法の復習及び「音楽と音の効果」予習	45分
第2回 第1課「音楽と音の効果」	語彙・文法の復習及び予習、作文	45分
第3回 第2課「いい数字・悪い数字」	語彙・文法の復習及び「いい数字・悪い数字」予習	45分
第4回 第2課「いい数字・悪い数字」	語彙・文法の復習及び予習、作文	45分
第5回 第3課「『おもしろい』日本」	語彙・文法の復習及び「『おもしろい』日本」予習	45分
第6回 第3課「『おもしろい』日本」	語彙・文法の復習及び予習、作文	45分
第7回 第4課「くしゃみ」	語彙・文法の復習及び「くしゃみ」予習	45分
第8回 第4課「くしゃみ」	語彙・文法の復習及び予習、作文	45分
第9回 第5課「わたしの町」	語彙・文法の復習及び「わたしの町」予習	45分
第10回 第5課「わたしの町」 第6課「この日に食べなきゃ、意味がない」	語彙・文法の復習及び「この日に食べなきゃ、意味がない」予習、作文	45分
第11回 第6課「この日に食べなきゃ、意味がない」	語彙・文法の復習及び予習、作文	45分
第12回 第7課「お相撲さんの世界」	語彙・文法の復習及び「お相撲さんの世界」予習	45分
第13回 第7課「お相撲さんの世界」 第8課「第一印象」	語彙・文法の復習及び「第一印象」予習、作文	45分
第14回 第8課「第一印象」	語彙・文法の復習及び予習、作文	45分
第15回 総復習プレゼンテーション	第1課～第8課の復習	45分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、指定された予習・復習・作文を小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
宿題 15%、授業への積極的関与・授業内での発表等 25%の総合評価

課題に対するフィードバック

授業内に予習・復習・作文の課題についてフィードバックする。

教科書・参考書

教科書： 『中級を学ぼう』日本語の文型と表現 5 6 中級前期 スリーエーネットワーク発行
平井悦子 三輪さち子 著
参考書： なし